



としょかんだより

紫陽花がしっとりと雨に濡れる季節です。雨の日は、図書館でゆっくり読書してみるのもいいですね。たくさんの本を揃えてみなさんの来館を心よりお待ちしております。

全校貸出 1,000 冊目！

6月上旬に今年度の全校貸出が1,000冊を超えました！1,000冊目を借りた3年生の女子に記念の図書カードをプレゼントしました。読書には「心が豊かになる」「語彙が広がる」「考える力を養う」などたくさんのメリットがあります。目標は月4冊です！本と親しむことを生活の中に根付かせましょう！

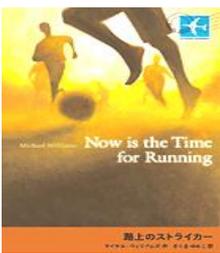
第60回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書のご案内

『アヴェ・マリアのヴァイオリン』 香川宣子著



14歳のあすかのヴァイオリンには数奇な物語が隠されていた…。強制収容所に入れられながらも囚人音楽隊員として生き抜いた少女・ハンナ。家族、仲間、そして音楽のすばらしさを高らかに歌い上げた感動の一冊です。

『路上のストライカー』 マイケル・ウィリアムズ作 さくまゆみこ訳



デオは年のはなれた兄のイノセントとともに、ジンバブエの故郷の村での虐殺を生きのびて、見知らぬ父のいる南アフリカを目指す。ワニが棲息する川をこえ、野生動物の保護区を走りぬけ、さまざまな困難の果てに待っていたのは、外国人である自分に向けられる憎しみとおそれだった。過酷な運命に翻弄されながらも、少年はサッカーで人生を切り拓いていく。

『生命とは何だろう？』 長沼毅著



地球に最初の生命が誕生してから、およそ38億年。最初の生命はどこで生まれたのか、進化とは正確にはどのような理論なのか、生命を人工的に創り出すことは可能なのか、そもそも生命の本質とは何なのか……生命に関する様々な謎を長沼毅が解説する。

※3冊とも図書館に置いていますが、それぞれ1冊ずつしかありませんので早めに借りに来ることをお勧めします。借りた場合は次の人のために必ず期限内に返却して下さいね。



新着本案内



話題のあの本やこの本がどーんと入ってきました。皆さんぜひ借りに来てください！
また、ここに載せきれなかったものもありますので、詳しくは学級に掲示される新着図書案内で
確認をして下さい。

【文学】

『虚ろな十字架』 東野圭吾



最愛の娘を事件で失った主人公の中原。ある日別れた妻が亡くなったとの連絡が警察から入るが…。刑罰と償いがテーマとなった内容です。

『不祥事』 池井戸潤



トラブルを抱えた銀行支店を回って業務改善を指導する花咲舞。歯に衣着せぬ言動で様々な難問を解決していきます。ドラマの原作本。

- 『白ゆき姫殺人事件』 湊かなえ
- 『豆の上で眠る』 湊かなえ
- 『真夜中のパン屋さん』 大沼紀子
- 『僕の光輝く世界』 山本弘
- 『海うそ』 梨木香歩

- 『アナと雪の女王』 ジェニファー・リー
- 『百舌の叫ぶ夜』 他2冊 逢坂剛
- 『ビブリア古書堂の事件手帖5』 三上延
- 『小説外務省』 孫崎享
- 『かまえ！ぼくたち剣士会』 向井湘吾

【社会・経済・教育系】

『AO・推薦入試 面接・小論文対策の極意』 板橋江利也

実際の面接や小論文の試験において必要な「実力」とは？「自己アピール力」を身につけよう！ AO・推薦入試を成功させる秘訣実践編 など。



- 『吉岡のなるほど小論文講義10』 『吉岡のなるほど小論文頻出テーマ16』 吉岡友治
- 『推薦・AO入試合格バイブル』 中村公博 『女の子って勉強で人生が変わるんだ』 中井俊巳
- 『肝が据わった公務員になる』 中野雅至 『日本人が知らない世界と日本の見方』 中西輝政

【建築・生活・芸術・動物系】

- 『syunkon カフェごはん』 山本ゆり
- 『夜12時のシンデレラごはん』 山本由樹
- 『珈琲事典』 田口護
- 『最後の戦闘機 紫電改』 碓義朗
- 『ネコ探訪』 まつうらゆうこ
- 『ムーとたすく』 Ayasaka
- 『ぼくのともしち』 ジョンソン
- 『看板建築・モダンビルレトロアパート』
伊藤隆之

【科学・医学】

『看護師になるには』 佐々木幾美



「なるにはBook」シリーズ。「ドキュメント」「仕事の世界」「なるにはコース」の3部構成。

- 『体感する宇宙』 竹内薫
- 『宇宙はなぜこのような形なのか』
渡辺潤一

高校生に読んでほしい50冊



新潮文庫から「高校生に読んでほしい50冊」というリーフレットが毎年発行されています。昨年度はこのリーフレットに掲載されている本を参考に、読書感想文用の本を選んだ生徒が多く見られました。「読書感想文の本、何を選んだらいいかわからない…」、「この夏何か読んでみようかな」という人におすすめです。カウンターや展示棚に置いてありますので気軽に手に取って見て下さい。

リーフレットに掲載されている本を紹介します。(○は所蔵あり)

【泣ける本】

- 『夏の庭』 湯本香樹実 ○
- 『蜷川・泥の河』 宮本輝 ○
- 『きみの友だち』 重松清 ○
- 『ふたり』 赤川次郎
- 『ツナグ』 辻村深月 ○
- 『さがしもの』 角田光代 ○
- 『西の魔女が死んだ』 梨木香歩 ○
- 『風が強く吹いている』 三浦しをん ○
- 『博士の愛した数式』 小川洋子 ○
- 『東京タワー』 リリーフランキー ○
- 『夜のピクニック』 恩田陸 ○
- 『燃えよ剣上・下』 司馬遼太郎 ○
- 『神様のポート』 江國香織 ○

【恋の本】

- 『陽だまりの彼女』 越谷オサム ○
- 『キッチン』 吉本ばなな ○
- 『ティファニーで朝食を』 ○
トルーマン・カポーティ
- 『センセイの鞆』 川上弘美 ○
- 『流れ星が消えないうちに』 橋本紡 ○
- 『朗読者』 ベルンハルト・シュリンク
- 『ぼくは勉強ができない』 山田詠美 ○
- 『三四郎』 夏目漱石 ○
- 『太陽の塔』 森美登美彦 ○
- 『金閣寺』 三島由紀夫 ○

【考える本】

- 『塩狩峠』 三浦綾子 ○
- 『沈黙』 遠藤周作 ○
- 『きことわ』 朝吹真理子
- 『黒い雨』 井伏鱒二 ○
- 『李陵・山月記』 中島敦 ○
- 『フェルマーの最終定理』 サイモン・シン
- 『受験脳の作り方』 池谷裕二 ○
- 『沈黙の春』 レイチェル・カーソン ○
- 『若き数学者のアメリカ』 藤原正彦 ○
- 『夜間飛行』 サンニテグジュペリ ○

【熱い本】

- 『ゴールデンスランバー』 伊坂幸太郎 ○
- 『キケン』 有川浩 ○
- 『世界の終りとハードボイルド・
ワンダーランド』 村上春樹 ○
- 『ボクの音楽武者修行』 小澤征爾
- 『人間失格』 太宰治 ○
- 『精霊の守り人』 上橋菜穂子 ○
- 『小僧の神様城の崎にて』 ○
- 『車輪の下』 ヘルマン・ヘッセ
- 『黄色い目の魚』 佐藤多佳子 ○
- 『甲子園が割れた日』 中村計 ○

【驚きの本】

- 『ボトルネック』 米澤穂信 ○
- 『羅生門・鼻』 芥川龍之介 ○
- 『向日葵の咲かない夏』 道尾秀介 ○
- 『変身』 フランツ・カフカ ○
- 『未来いそっぷ』 星新一 ○
- 『注文の多い料理店』 宮沢賢治 ○
- 『砂の女』 安部公房

展示コーナー

読書でリラックス



心が疲れた時、落ち込んだ時、悲しい時
本を読むと、心がすっと軽くなったこと
ありませんか？本には心を癒す魔法の力
があります。皆さんの心に寄り添うよう
な本を集めてみました。ほっと一息して
みませんか？

高校生に読んでほしい50冊

五高図書館にはリーフレットに掲載
されている本が殆ど置いてあります。
感想文の本選びに迷った時は、ここ
から選んでみてくださいね！



雨を読む

今年も梅雨の時期がやってきました。雨の日は外に出るのが億
劫になりがち。そんな時には雨音をBGMに読書を楽しみましょう。
雨の日はまさに読書日和です！雨の日におすすめの本を集めてみ
ました。



お知らせ



- ・5月の貸出冊数は452冊でした。(昨年度は472冊) 昼休み放課後と1年生がよく借りにきてくれました。
- ・「芸術新潮」という雑誌に変わり、新しく「美術の窓」という雑誌が入ります。美術に関する情報など内容が充実しています。皆さんぜひ一度手に取って見て下さいね。
- ・五高図書館には返ってきたその日に借りられてしまう超人気の本があります！その本は…百田尚樹の『永遠の〇』です。昨年末映画化されたことで人気に火がついたようです。次から次に貸し出されるため図書館ではなかなか目にするのでできない幻の一冊です！五高図書館で超人気の本、チャンスがあればぜひ読んでみて下さい！

『さがしもの』 角田光代



「その本をみつけてくれなけりゃ、死ぬに死ねないよ」、病床のおばあちゃんに頼まれた一冊を求め奔走した少女の日を描く。

『博士の愛した数式』 小川洋子



「僕の記憶は80分しかもたない」博士の背広の袖にはそう書かれた古びたメモが留められていた。記憶力を失った博士とのあまりにも悲しく暖かい、奇跡の愛の物語。

泣

『燃えよ剣』 司馬遼太郎



幕末の動乱期を新撰組副長として剣に生き剣に死んだ男、土方歳三の華麗なまでに頑な生涯を描く。

『ふたり』 赤川次郎



高校2年生までしか生きられなかった姉、千津子。死んだはずの姉の声が突然頭の中に聞こえ、妹美加の奇妙な生活が始まる。二人の姉妹のほろろ苦い青春物語。

その他には

- 『夏の庭』 湯本香樹実
- 『ホタル螢川・泥の河』 宮本輝
- 『きみの友だち』 重松清
- 『ツナグ』 辻村深月
- 『西の魔女が死んだ』
- 『神様のボート』 江國かおり
- 『夜のピクニック』 恩田陸
- など。

来月は『考える本』を紹介します。

